

大分県宇佐市 1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

宇佐市では「宇佐市教育行政方針」の中で、教育委員会主要事業として「ICT を活用した個別最適化された学び、協働的な学び」を掲げています。

ICT の利活用を進めることで、学習活動の一層の充実を図るとともに、多様な児童生徒の学びの保障を目指していきます。

2. GIGA 第1期の総括

宇佐市では令和2年度からタブレットの整備を始め、令和3年4月に1人1台タブレットの導入が完了しました。導入当初は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休校時の学びの保障を目的として活用しました。その後もデジタル教科書やデジタルドリルの活用を進めるとともに、さらなる授業での利活用を可能とするために各小中学校へ授業用の大型提示装置を導入しました。

その中で、各種機器の消耗や導入ソフトの増加に伴う業務量の増加等の課題が発生しており、より効率的な専門的な運用が求められています。

3. 1人1台端末の利活用方策

児童生徒の個別最適化な学びをさらに充実させるためには、きめ細かく指導・支援することが必要であります。そのため、端末の整備・更新により児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持するとともに下記のようにタブレット等を効果的に活用していきます。

- ・教育データに基づく児童生徒の実態把握、実態に応じた指導の個別化（各児童生徒の生活・学習進捗状況に合わせた支援の提供）にタブレットを活用する。
- ・学習支援ソフトを活用し、主体的な学びや児童生徒同士での協働的な学びを促す。
- ・児童生徒の情報活用能力の向上だけでなく、情報モラル学習を強化し、情報発信による他者への影響の理解を深める。